

<学習到達目標>

【知識・技能】	学習内容を理解し、観察・実験の基本的な技能を身につけることができる。
【思考・判断・表現】	課題を見つけ、見通しを持って活動し、分析、表現することができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	理科に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。

月	学習のねらい・内容	月	学習のねらい・内容
4	<p>【化学変化と原子・分子】 30時間+4</p> <p>◆1章 物質の成り立ち 10時間 物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質と、もとの物質との関係を見いだす。また、物質は原子や分子からできていることを理解する。</p> <p>◆2章 物質の表し方 4時間 原子や分子を化学式で表すことができるようにする。また、化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができるようにする。</p> <p>◆3章 さまざまな化学変化 9時間 さまざまな化学変化を原子・分子のモデルや化学反応式を用いて説明できるようにする。さらに、化学変化に伴う熱の出入りについても認識し、それらが日常生活にも多く利用されていることを理解する。</p> <p>◆4章 化学変化と物質の質量 7時間 化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後と物質の質量との関係を見いだす。</p> <p>【生物の体のつくりとはたらき】 34時間+5</p> <p>◆1章 生物の体をつくるもの 6時間 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし理解する。</p> <p>◆2章 植物の体のつくりとはたらき 9時間 植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解する。</p> <p>◆3章 動物の体のつくりとはたらき 12時間 動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解する。また、不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。</p> <p>◆4章 動物の行動のしくみ 7時間 動物が外界の刺激に適切に反応しているしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解する。</p>	11	<p>【地球の大気と天気の変化】 26時間+4</p> <p>◆1章 地球をとり巻く大気のように 5時間 地表にあるもののすべてに大気圧がはたっていることを理解し、身のまわりの大気存在を認識する。また、気象要素の変化と天気の変化の関係を見いだす。</p> <p>◆2章 大気中の水の変化 6時間 霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解する。また、地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識する。</p> <p>◆3章 天気の変化と大気の動き 5時間 気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。また、日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉える。</p> <p>◆4章 大気の動きと日本の四季 10時間 大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。さらに、日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。</p> <p>【電気とその利用】 33時間+4</p> <p>◆1章 電流の性質 17時間 回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見い出すとともに、実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。</p> <p>◆2章 電流の正体 7時間 日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見いだし、真空放電の実験から、電流の正体について理解する。</p> <p>◆3章 電流と磁界 9時間 日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解し、直流と交流の違いを捉える。</p>
5		12	
6		1	
7		2	
8		3	
9			
10			

評価資料	【知識・技能】	テスト	実験・観察レポート	実験・観察の様子	発表
	【思考・判断・表現】	テスト	実験・観察レポート	学習の様子	発表
	【主体的に学習に取り組む態度】	テスト	実験・観察レポート	学習態度	発表